

医療協力についての経緯

一、これまで韓国側より政府レベルで原爆医療協力につき正式に日本に対し申し入れ越したことはない。

二、わが方には原爆被災者団体よりの陳情の次第もあり、

請求権的問題になることをさけつつ、いかなる協力が可能かを

検討した結果、昨年十一月ソウルで韓国政府に対しわが国の

医療協力計画の一環として、原爆医療関係の研修員数

名を受け入れたい旨を、医師づくりに協力すべき旨を提案した。

これに対し、韓国側は治療施設がない現状では、研修員

が研修を受けても治療効果が期待されないのでは、むしろ

機械供与を希望する旨非公式に反意を表明した。

三、その後、韓国側より具体的な研修員派遣の申し入れはない。

尚、機イ供与については、現在、伝染病プロジェクト

トを実施中でもあり、当面 原爆病関係について、これを行なうことは考えていない。